

JICA 課題別研修 社会課題解決のためのデジタルトランスフォーメーション(DX)推進

JTEC では、過去3年間にわたって独立行政法人 国際協力機構（JICA）の研修事業を請け負い、アジア・アフリカ・中東・中南米地域等全世界を対象に、「社会課題解決のためのデジタルトランスフォーメーション（DX）推進」をテーマとした課題別研修を実施しています。総務省が推進する「Society 5.0」を軸に、IoT、スマートシティ、デジタルツインなどに関連したプログラムを組み、中央官庁、地方自治体、大学・学術機関、民間企業などから講師を招聘し、行政サービス（e-Government）、農業（Smart Agriculture）、保健医療（e-Healthcare）、防災・減災（Smart Disaster Management）、交通（Smart Mobility）などの幅広い分野での取り組みやベストプラクティスをご紹介いただきました。また、認証技術や量子コンピューティング技術を活用した「スマートシティ／街づくり」やドローン等のロボティクスを活用した過疎化対策等、最新技術を活用したソリューションもプログラムに織り込み、「行政の取り組み」「ソリューション事例」「要素技術」という3つの切り口からそれぞれのカリキュラムが有機的につながるよう、統一感を持ったプログラムに仕立てる工夫を施しました。当日は一方的なレクチャーとはせず、参加者1人1人が抱える課題の解決に向け、適用可能なソリューションについて考察、議論する場を設け、JTEC が議論をファシリテートして参りました。

2019 年末に初めて陽性感染者が確認された新型コロナは、瞬間に地球規模に拡大し、この3年間の研修は「オンライン実施」とならざるを得なかったのですが、実際に視察予定だった施設等を訪れることは難しいながら、代替手段として、遠隔診療によって薬剤が処方され、それがドローンによって無医村の離島に配送される映像を紹介したり、量子コンピューティング技術やAIによるデータ解析の画面を実際に見てもらうなど、疑似体験ではありますが、臨場感あふれる動画の視聴により、参加者の理解を深める工夫を施しております。今後、この分野はVRやARなどの技術の発展により、さらに高い臨場感へと進化を遂げることでしょうし、オンサイトとオンラインのハイブリッド開催が日常的になってきた今日、JTEC の研修もさらに進化した形で各国のデジタル化やICT化を担う高度人材の育成・能力開発を支援すべく、日夜取り組んで参ります。

▼研修全体概念図

